







青い空、すきとおった海、豊かな自然とめずらしい動物達、テレビや本で見る沖縄に私はとても興味を持ちました。いろいろなみのある沖縄ですが、今回は自然と文化について調べてみました。

	目次	・ 沖縄の自然… 2	
		・ 沖縄の文化… 8	
		・ おわりに… 12	

沖縄復帰50周年

Okinawa Reversion 50th Anniversary



©原印刷株式会社製

令和4年5月13日



沖縄の自然

一年中あたたかく雨の多い沖縄の気候は、豊かで独特の自然環境をつくり出し、いろいろな動物や植物を育ててきました。沖縄だけにしかない種類も多いので「東洋のガラパゴス」とも言われています。

沖縄は島々からできていますが、大昔は中国大陸や日本列島ともつながっていました。そのためいろいろな生き物達も沖縄にも渡ってきたのです。しかし長い時間の中で、陸地と切りはなされたり、沈んだりをくり返して南北に点々と続く島々となったのです。

沖縄に住む現在の生き物達の多くは、もともと中国大陸から渡ってきたものです。そして長い時間がたつうちに、体を沖縄の環境に合わせて変化させてきたのです。

沖縄の海

沖縄の海はエメラルドグリーンにかがやく美しい海です。数百種のサンゴが住み、色あざやかな熱帯魚がむれをなして泳いでいます。島の沖合いには黒潮という海の中の河のような流れがあり、マニタやクミラをはじめとする、たくさんの海の生物をつっぴこみながら、日本列島を目指してたえず流れています。



ジンバイガメ、マニタ、熱帯魚が住むサンゴ礁の海



サンゴ礁

沖縄の島々はサンゴ礁に取り囲まれています。サンゴ礁は、波や潮の流れから海岸を守るだけでなく、多くの海の生物達のすみかにもなっています。

サンゴはサンゴ虫という小さな動物が集まったものです。サンゴ虫は石灰岩でできた体をつぎつぎとつくり、その上で増え続

けていくので、サンゴはしだいに大きくなり、このようないくつものサンゴが多くの生物のすみかになりサンゴ礁ができます。



西表石垣
国立公園

沖縄の海は、微生物やプランクトンなどの小さな生きもの達が少ないため、透きとおっていて、海面から底の方まで見わたせるほどです。沖縄のそばを北に向かっている黒潮という大きな流れには、海中の小さな生きもの達があまりいないので、コバルトブルーとよばれるきれいな色をしています。



タイマイ
ガラサーガミー
絶滅危惧1B類



ジュゴニ
ガン
天然記念物 絶滅危惧1A類

サンゴ礁が発達した海に生息する。日本では、甲板がべっ甲細工の原料とされた。

熱帯や亜熱帯の浅海に生息する。海草をたくさん食べる。生息数が減っている。



セグロチョウチョウウオ



ミナミハコフグ



ハマクマノミ
沖縄名 イヌビ



モニガラカワハギ
沖縄名 カーホーシャー



フエヤッコダイ
沖縄名 カーサー



スイシガイ
沖縄名 モーモ



ヤコウガイ
沖縄名 ヤクゲー



ホネガイ

サンゴ礁や岩礁などに生息する貝類。
ビーチコーミングでめずらしい貝がらにであえるかも？



ミナミオカガニ
沖縄名 ナーサオカガニ



クマドリオウギガニ
沖縄名 ヤクジャマガニ



リュウキュウシオマネキ

マニケローブ林の下や河口などに生息するカニ達



沖縄の動物・植物



ヨナゲニサン

方言名 アヤミハビル
沖縄県八重山諸島にのみ生息。世界最大のガ。

沖縄ではこれまでに約7600種類の動物の生息が記録されています。中でも特にめずらしい動物が住んでいる地域は西表島とヤンバルとよばれる沖縄県北部です。大昔のままの自然が今でも残っているこれらの地域には、世界中でここだけにしかないめずらしい動物達がひっそりと生きています。

ほにゃう類	鳥類	は虫類	両生類
約30種	約500種	約60種	約20種
たんすき水魚類	こうかく類	こ虫類	陸の貝類
約200種	約150種	約6500種	約140種

沖縄は植物も豊富で、ハイビスカスをはじめ、デイゴやブーゲンビリア、パイニアップルに似た実をつけるアゲなど、2000種以上が見られるといわれています。特に沖縄県北部や八重山の島々、南北の大東島などでは、他の県にはないめずらしい種類の植物も数多く見ることが出来ます。

また、西表島では、島全体を包みこむように森が広がっていて、まるで南アメリカやアフリカの熱帯ジャングルのようです。西表島でよく目にする植物といえばマングローブです。マングローブは、海岸や海に近い川の出口などに多く見られます。マングローブの林は、魚やカニなどの小さな生物達を育てることに役立っていて、あたり一帯の環境を整えるという、重要な働きをしています。



デイゴ

マメ科の落葉高木。春から初夏にかけて咲く赤い花が有名。



西表島



西表島は、沖縄島の次に大きな島です。島のほぼ全域が国立公園になっていて、ほとんどは原生林におおわれています。島には1年間に2500ミリをこえるほどの雨が降ります。島に降った雨は、島全体をうるおし、浦内川や仲間川などの川に流れこみ、ピナイサーラ、カニピレー、マリユドウといいた滝を下ります。

西表島の中心部は、イタシイヤオキナワウラシロガシなどの、自然のままの林が広がっています。また、海に近い川岸に広がるマンゲロープ林は日本で一番大きく、ほとんどの景では見られないものです。この島ではイリオモテヤマネコをはじめとして、カニムリワシ、ヤエヤマセマルハコガメ、キシノウエトカゲなど、世界的にもめずらしい生きものがたくさん見られます。



マリユドウの滝
マリの丸い。ユドウは淀の意。
日本の滝百選の1つ



イリオモテヤマネコ
方言名 ヤマピカリヤ

西表島に住む原始的なヤマネコ、ベンガルヤマネコに近い種類、1967(昭和42)年に新種として発表されました。約100頭しか生き残っていないと考えられます。島の開発が進むにつれ、交通事故で死亡する数もふえています。特別天然記念物、絶滅危惧ⅠA類。

西表島と石垣島だけに住んでいる陸ガメです。おなかのこうらがチョウツガイのようになっているので、首と手足を引こめて、こうらをおり曲げ、フタをすれば敵から身を守ることが出来ます。背中が丸くもり上がっており、箱のようになることから、この名前がつけられました。天然記念物 絶滅危惧Ⅱ類。



ヤエヤマセマルハコガメ
方言名 ヤマルコーザ



ヤンバル

ヤンバルとは、沖縄県北部の豊かな森林が広がる地域のことです。ヤンバルでは、昔から森と人が共に暮らしてきて、人との関わりの中で豊かな森が守られてきました。こうした森の中にたくさんの生きもの達が住んでいて、世界でここだけにしかない生きものもいます。

しかし、ヤンバルの生きもの達をとりまく環境は、とてもこわれやすいものです。マングースや都市部から持ちこまれたノラネコやノライヌなど、もともとヤンバルにはいなかった生きものにおそわれたり、勝手に持ち去られたり、車にひかれたりするなど、絶滅が危ぶまれています。



ヤンバルクイナ 方言名アガチー
天然記念物 絶滅危惧1A類

1981(昭和56)年に発見されたヤンバルクイナは、ヤンバルの森にしかない固有種です。全長は約30センチぐらいで、体は黒っぽく、目とクチバシと足が赤い色をしています。ほとんども飛べないため、昼は地上で生活し、夜になると木に登ってねます。現在約1400羽が住んでいると考えられています。

ヤンバルテナガコガネ
天然記念物 絶滅危惧1B類

ヤンバルだけに住む日本最大のコガネムシで、体の長さは約6センチです。前脚が長いのが特徴で、特にオスの前脚は8センチほどあります。



ノグチゲラ 方言名キータタチャー
特別天然記念物 絶滅危惧1A類

キツツキの仲間。1属1種の日本固有種です。現在は100羽ほどしか残っていないといわれていて、開発の影響で巣をつくる太い木も減っていることから、絶滅の心配があります。





沖縄の文化



沖縄はかつて琉球王国という独立した国家で、中国をはじめ日本、朝鮮、東南アジア諸国などとの交易によって栄えました。そのため、各国の影響を受けながら独自の文化をつくっていきました。



琉球紅型



芭蕉布地紅型

芭蕉布の布地に紅型をほどこしています。

沖縄の伝統工芸 染織物

琉球王国が栄えた14～16世紀ごろは、中国や東南アジア、インドとさかん取引を行っていたため、これらの方から絹(かすり)や、染織の技法も琉球にもたどられました。これらの技法は琉球王の保護を受けながらさらに発展し、独特の染め織り文化を作り上げました。

沖縄でただ一つの染物「紅型(びんがた)」、インドから伝わったとされる琉球絹、沖縄でただ一つの泥染め久米烏紬(むぎ)のほか、芭蕉布、宮古上布、花織、ミニサーなど、沖縄の染織物の種類は、非常に豊富です。

沖縄の伝統工芸 三線(さんしん)

三線は14世紀末ごろに原型となる楽器が中国から琉球に伝わり、15世紀ごろに生まれましたとされています。沖縄の伝統芸能である組踊やエイサー、民謡などで演奏されるだけでなく、近年ではポップスにも用いられて、美しい音色が多くの人々を引きつけています。



沖縄の
伝統芸能

琉球舞踊

琉球舞踊は沖縄で継承されている伝統舞踊です。琉球王国時代につくられた古典舞踊と、明治時代以降に誕生した雑踊り・戦後生まれの創作舞踊の3つに分けられ、古典舞踊と雑踊りは国の重要無形文化財に指定されています。



琉球舞踊
「四ッ竹」



1970 組踊郵便切手



二重郵切手

大蔵省印刷局製

沖縄の
伝統芸能

組踊

組踊は、300年前に沖縄で生まれた演劇です。中国からやって来る使者をもてなすため、踊奉行であった玉城朝薫が創作しました。切手に描かれている演目は「二童敵討」という最も知名度が高いとされている演目です。2人の兄弟が父の敵、阿麻和利(あまわり)を討つという物語です。

沖縄の
伝統芸能

エイサー

毎年、お盆の時期になると沖縄本島やその周辺の島ではエイサーが行われます。これは先祖の霊をなぐさめるための踊りで、各地の若者達は、たいこを鳴らしながら「エイサー、エイサー」などとかけ声をかけながら踊ります。



エイサー





ハーリー

沖縄の伝統行事 ハーリー

ハーリーとは、航海の安全や豊漁を祈り、サバニと呼ばれる伝統漁船で競漕を行う行事です。旧暦の5月4日(ユッカ又ヒー)に行われることが多いですが、旧暦7月のお盆前後の海神祭(ウニシヤシ)などの行事の際に、竜の飾りをした疍船(はりゅうせん)競漕をしたりと地域により開催日程や内容が違います。

沖縄の伝統行事 綱引き

沖縄では7月～9月にかけて各地で綱引きが行われます。沖縄の綱引きは、基本雄綱と雌綱と呼ばれる2本の綱の先に作り水た輪をカナチ棒で結合めせて、東側の雄綱と西側の雌綱に分かれて引き合うのが特徴です。豊漁・豊作祈願、厄払いなどの意味が込められ、勝負の結果で吉凶を占、てきました。

沖縄三大綱引きとして「那覇大綱挽」「糸満の大綱引き」「与那原の大綱曳き」が有名です。



綱引き(沖縄版)

Special Prefecture Issue—(90) Okinawa
First Day of Issue Aug. 1, 1994

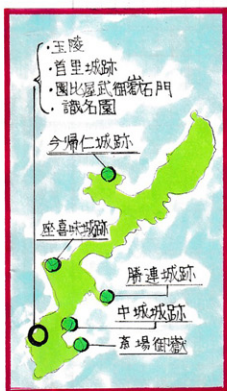


綱引き 初日カバー



沖縄の世界遺産

琉球王国時代の城跡や信仰の場所など9カ所の史跡が「琉球王国及び関連遺産群」として2000(平成12)年にユネスコの世界文化遺産に登録された。



第10集 琉球王国のグスク及び関連遺産群

The World Heritage

世界遺産



- ① 玉陵：石獅子
- ② 園比屋武御殿石門
- ③ 今帰仁城跡：城壁とヒカンザクラ
- ④ 座喜味城跡：石門
- ⑤ 勝連城跡：城壁
- ⑥ 中城城跡：二の郭



- ⑦ 首里城跡 歎金門
- ⑧ 首里城跡 正殿
- ⑨ 識名園 六角堂とアーチ式石橋
- ⑩ 高場御嶽：三庫理

背景 琉球風俗画帖(部分)



⑦⑧



おわりに



今回調べてみて、自然では私の住んでいる千葉県にはいるないカラフルな魚やめずらしい動物達がいることを知りました。しかし絶滅のおそれがあることも知り、守、ていかなくはないかもしれないと思いました。文化ではおもてなそうなものや、実際に見たり体験してみたいなと思うものがたくさんありました。家族で今度沖縄に行、てみたいなと思いました。

参考図書

上里隆史『調べる学習百科 琉球・沖縄 も、と知りた い！くらしや歴史』2020年 岩崎書店

『沖縄のトリセツ』2021年 昭文社

参考ホームページ

沖縄県
<https://www.pref.okinawa.jp>

沖縄美ら海水族館
<https://churaumi.okinawa>



沖縄物産店 わしたショップ
イオニレイクタウン kaze 店にて